



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



vol. 327

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- 4月 7日(金) 2023中小春闘勝利 未解決組合支援促進徳島総決起集会(ふれあい健康館)
- 4月25日(火) 連合四国ブロック政策担当者会議(高知市)
- 5月17日(水) 中小労働対策本部第3期労働関係セミナー(第1回)(ふれあい健康館)
- 5月20日(土) NPO法人徳島労働安全衛生センター設立20周年記念事業(ふれあい健康館)
- 5月30日(火) 連合四国ブロック最低賃金担当者会議(高知市)
- 6月 3日(土) 中小労働対策本部第3期労働関係セミナー(第2回)(ふれあい健康館)
- 6月 7日(火)～8日(水) 女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン(連合徳島会議室)
- 6月14日(水) 中小労働対策本部第3期労働関係セミナー(第3回)(ふれあい健康館)
- 6月28日(水) 連合徳島2023年度地方委員会(徳島グランヴィリオホテル)
- 6月30日(金) NPO法人徳島労働安全衛生センター第22回定期総会(ふれあい健康館)
- 7月 1日(土) 中小労働対策本部第3期労働関係セミナー(第4回)(ふれあい健康館)

連合徳島は2023年1月5日、徳島グランヴィリオホテルで「2023年連合徳島新年旗開き」を開催した。来賓には、飯泉徳島県知事・伊藤徳島労働局長・折野徳島市第二副市長・高井三好市長をはじめとして行政関係者、経営者団体からは脇田徳島県経営者協会専務理事、梯徳島県商工会議所連合会副会頭、市原徳島県商工会連合会専務理事、木具徳島県中小企業団体中央会専務理事、山城徳島県中小企業家同友会会長、政党関係から庄野立憲民主党徳島県連代表、黒崎国民民主党徳島県連代表、さらに、各労働福祉団体・連合徳島議員ネットワーク・仁木衆議院議員・友好組織等から53人をお迎えした。各構成組織からの参加者を含め、

約116人で2023年のスタートとなる旗開きを開催することができた。司会進行は、島事務局長と藤田副会長が担当した。主催者代表挨拶で大谷連合徳島会長は、来賓をはじめ参加者に対して、日頃の連合徳島の諸活動へのご理解とご協力に対する感謝を述べるとともに、2023春闘と第20回統一地方選挙の取り組みに触れるとともに、今回も新型コロナウイルス感染症対策上、制約ある開催となった旗開きについて理解を求めた。

来賓からは、各参加団体を代表して、飯泉徳島県知事・伊藤徳島労働局長・折野徳島市第二副市長・高井三好市長・梯徳島商工会議所副会頭・川越(公社)徳島県労働者福祉協議会会長から挨拶を受けた。また、庄野立憲民主党徳島県連代表・黒崎国民民主党徳島県連代表をはじめ連合徳島議員ネットワーク議員団・仁木衆議院議員からは各議員の近況が報告された。それぞれ



大谷会長が構成組織組合旗パネルを背景に主催者挨拶

「すべての働く仲間とともに必ずそばに在る存在へ」
連合徳島活動スタート
2023春闘と第20回統一地方選挙の勝利を



乾杯の発声をする岡会長代行

の来賓挨拶では、連合徳島に高い期待が寄せられた。参加者間の交流は、岡連合徳島会長代行による、参加者への御礼と力強い乾杯の発声によりスタートした。また、旗開きの交流の機会を通じて、連合徳島に集う各構成組織間の情報交換を行う貴重な機会となった。閉会あいさつで、賀川連合徳島副会長は、来賓組織ならびに構成組織に対して連合徳島の活動に引き続き協力をいただくことをお願いし、2023年連合徳島新年旗開きを締めくくった。

2023春闘スローガン

「暮らしをまもり、未来をつくる。」

2023春季生活闘争 県共闘会議発足総会

2022年12月9日、徳島県労働福祉会館別館5階ホールにて、「2023春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会」を感染症対策の上で開催し、連合徳島構成組織等から33人が参加した。

総会議長に徳島県中小労働対策本部 井内議長が選出され、主催者を代表して連合徳島大谷会長から、「私たち労働者・生活者にとって当面の課題は物価高だと感じている。徳島県の最低賃金が824円から855円に上がったが、10月だけでいえば、物価上昇分で消えてしまっている。さらに、今後も円安やエネルギー・ガソリン代など生活に身近な品目の値上がりが見え、さらなる物価高の危険性がある。そんな情勢の中、連合としての(定期昇給分2%+ベースアップ分3%)5%の賃金要求指標が28年ぶりだとして注目されている。業種によって状況が違うことを踏まえて5%「程度」という幅をもった要求指標となっており、これもご理解いただけたらと思う。私たち連合がめざしている社会は、『働くことを軸とする安心社会』である。2023春闘でも『未

来づくり春闘』をきっかけに取り組み。本集會を契機に徳島県春闘共闘会議に結集する各組織の闘争体制を確立し全力で取り組み闘っていく」と挨拶。

島事務局からの総会議案提起では、2023春季生活闘争の方針として「今次闘争では、『未来づくり春闘』を深化させ、国、地方、産業、企業の各レベルでこうした問題意識の共有化に努め、ステージを変える転換点とする。コロナ禍による影響が続く産業や需要がコロナ禍前に戻らない産業があることなども踏まえ、お互いのおかれた状況を理解しあい、力を合わせて春季生活闘争を推進する。」と述べた後、①「賃金要求」②「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善③「ジェンダー平等・多様性の推進」について、具体的な労働条件の要求内容と具



各構成組織から33人が参加



2023春闘共闘会議議長に就任した大谷会長

体的な行動計画および闘いの体制を確認し、大谷会長の「暮らしをまもり、未来をつくる。」団結ガンパローで2023春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会を閉会した。

県内3団体に要請書提出

2023春闘 政策制度要求

連合徳島2023春季生活闘争要請行動を、3月6日徳島労働局、徳島県、経営4団体へ行った。各要請の冒頭、大谷会長より、2023春季生活闘争は40年ぶりといわれる物価高のなか、「人への投資」にこだわり春闘交渉を進めている。この20年間日本は、経済と賃金

が停滞している。賃金・経済・物価が安定的に上昇する社会へ変えていくため、私たち労働組合がけん引役となり取り組んでいくとあいさつ。

意見交換では、『労働局』労働局および監督署の相談者に対する対応の改善、労働災害の窓口の明確化、不払い等生じさ



徳島県要請



労働局要請



経営4団体要請

せないよう監督強化など。【徳島県】行政の発注事業における長期契約が弊害とならないよう柔軟な対応、多様な家族の在り方を認めるべくパートナースhip条例制定に向け

た対応。【経済4団体】高齢者雇用の課題や考え方、女性活躍の推進のためにもハラスメントの無い職場環境づくり、中小企業における労働力確保のためにも、月例賃金・

採用賃金の改善などについて求めた。それぞれ各要請項目をはじめ意見交換での要望に対し、考え方・方向性が示され要請行動を終了した。

2023春季生活闘争開始宣言集会&
2023連合白書学習会

人への投資にこだわり、

賃上げで経済・社会の好循環を

2023年2月7日、徳島県春闘共闘会議と連合徳島は、ふれあい健康館第2会議室にて、「2023春季生活闘争開始宣言2・7徳島集会」及び「連合白書学習会」を感染症対策の上、規模を縮小開催とし、連合徳島構成組織等から87人が参加し春闘勝利へ向け一丸となって闘う決意を確認した。

冒頭、主催者を代表して大谷共闘会議議長から「現在、円安、エネルギー・食料品価格の高騰、世界経済の景気後退の懸念がある中、日本は今後どのような道を辿るのか、岐路にたまたされている。労働組合がどのような未来を展望するのか、何をなすべきか、それがまさに今後を方向づけると考える。働く者の将来不安を払拭して、中長期的な経済の自律的な成長と社会の持続性を実現するためには、『人への投資』は不可欠である。2023春闘はしっかり賃上げを勝ち取って労働者全体に波及させていく責任がある」と挨拶。

島共闘会議事務局局長から2023春季生活闘争の闘いの基本的な考え方として、「賃金要求指標での『底支え』として時給1,150円をめざし、『格差是正』として企業内最低賃金協定1,150円以上とし、30歳で243,750円、35歳で266,250円を最低到達水準とする。『底上げ』としては各産業の『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組み強化を促す観点とすべての働く人の生活を維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ分を3%程度、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含む賃上げを5%程度とする」と提起した。

民間大手部会・賀川部会長、民間中小部会・井内中小労働対策本部議長、官公労部会・中川公務労協議長、地域部会・中央地域協議会宮本議長より、今春闘での部会決意を表明。連合徳島

青年委員会・小畑委員長から開始宣言(案)が力強く提案され、満場の拍手で承認された。

その後、連合白書学習会では、講師の連合本部総合政策推進局・労働条件局日登部長から、世界経済と日本経済の状況にふれたあと、「これまでも、消費税増税やリーマンショック時にも物価上昇はしているが、その都度、大企業・中小企業の業況は一時的に影響があるが、持ち直してきている。経営利益をみても同じである。諸外国に比べ設備投資と労働分配が、利益が出ても行われてきておらず、株式への配当金の支払いが多くなっている。一部の職種に限らず人材不足と言いつつ、『人への投資』が少なくない。雇用人員推移予測、人口推移は減少にあり、有効求人倍率、非正規労働者数が多くなっている。中期的にみると、低所得層が増え、中間層が減り、所得格差は拡大傾向にある。消費を回復・増加させるには、感染防止対策を講じながら、将来不安、雇用不安の払しょくをはかり、所得を増やしていく必要がある。給付金は低所得層中心に短

期的効果はあるものの、底上げ・底支え・格差是正により恒常所得を増やしていかなければならない。サブライチエーン全体で生み出した付加価値の適正分配に取り組み、2023春季生活闘争では、GDPも賃金も物価も安定的に上昇する経済へとステージを転換し望ましい未来と、日本全体の生産性を引き上げ、成長と分配の好循環を持続的・安定的に回していくことをめざす必要がある」と説明した。参加者は2023春季生活闘争に向け、ともに闘う決意を一つにした。

最後に、大谷議長の閉会挨拶と春闘勝利に向けた団結カンパローで閉会した。

2023春闘の課題や認識の共有化を

― 四国ブロック春季生活闘争推進会議 ―

2023年1月30日、連合四国ブロック2023春季生活闘争推進会議をコロナ感染症予防対策の上、徳島グランヴィリオホテルで開催し、各県から32名(内W eb3名)が参加して今春闘での情勢と中小共闘方針等について課題と認識の共有を行った。

冒頭、連合四国ブロック代表の連合徳島大谷会長から、「月刊連合」の表紙に載せてあるラッピングカーの取り組みと、仁平局長のインタビュー記事での「サブライチエーン」での労働者への配分が少なかったことに触れた後「2023春闘は、私たち労働組合がしっかり賃上げを勝ち取り、日本の労働者全体へ波及させていく責任がある。本会議を契機に2023春闘勝利

と4月の統一地方選挙での推薦立候補予定者全員の必勝に向けてともに頑張ろう」と挨拶。

仁平総合政策推進局(連合本部)から、至近の情勢報告のあと、「今春闘での3つの基本スタンスとして『未来づくり春闘』でデフレマインドを断ち切りステージを変えなければならない。また、『働くことを軸とする安心社会』に向け、格差是正と分配構造の転換に取り組む、『みんなの春闘』を展開し集团的労使関係を広げる。中小組合の取り組みとしては、賃金実態の把握を進め、企業規模間格差是正を賃上げ目標とし、雇用形態間格差是正・男女間賃金

続いて、各県連合から「春闘方針」中小・非正規の取り組み」を報告のあと、質疑・意見交換・情報交換を行い、推進会議を終了した。



各県から32名が参加

中小共闘方針共有化

職場の労働安全衛生と近年の法改正を学習

徳島県中小労働対策本部
第32回定期総会・一泊研修会

2023年2月18日、エクスピア鳴門において、連合徳島構成組織の中小労組等から55人が参加し、徳島県中小労働対策本部第32回定期総会と一泊研修会を開催した。

総会議長に、木村幹事が選出されたあと、主催者を代表して徳島県中小労働対策本部井内議長から地域ミニマム運動(賃金実態調査)の必要性と今後の調査への協力を述べたあと「2023春季生活闘争は昨年に引き続き『未来づくり春闘』をめざす。すべての働く仲間の立場に立つて取り組み、

様々な物価が値上がりする中、生活不安を払拭するためには、賃上げが不可欠であり、賃上げができる環境整備が必要である。また、経済・社会の原動力となる『人への投資』をより一層積極的に行わなければならない。今春闘は『くらしをまもり、未来をつくる。』をスローガンに闘い抜く」と挨拶。その後、連合徳島大谷会長、連合本部総合政策推進局・大久保労働条件局長、徳島労働局・小宮山労働基準部長、徳島県商工労働観光部・井上労働雇用戦略課長より来賓の挨拶を受けた。

2022年度活動経過報告、2022年度会計決算報告を山本事務局長から2022年度会計監査報告を西山会計監査が報告。2023年度活動基本方針(案)、2023年度会計予算(案)を山本事務局長から、2023年度役員体制(案)を鹿草副議長が提案し全体の拍手で承認された。

旧役員となった大田幹事、田北幹事から退任の挨拶を述べ、宮本副議長の閉会挨拶の後、井内議長の団結カンパローで定期総会を閉会した。

定期総会終了後、一泊研修会を開催し、徳島労働局健康安全課伊坂課長より「労働安全衛生の動向」、連合本部大久保労働条件局長より「2023春季生活闘



連合白書を解説する日登部長



春闘勝利にむけ、大谷共闘会議議長
団結カンパロー



各構成組織から87人が参加



井内議長が主催者あいさつ



連合本部労働条件局大久保局長が
「中小労組春闘の取り組み等」を説明



徳島労働局健康安全課伊坂課長が
「労働安全衛生の動向」を講演



各構成組織から55人が参加

11月街宣

地域別最低賃金、過労死等
防止啓発月間を周知

2022年11月2日、JR徳島駅前にて「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキヤンペーン」徳島駅前街宣行動を開催し、連合徳島構成組織等から27人が参加し、「地域別最低賃金の周知」「連合アクション」「過労死等防止啓発月間」等について訴えるとともに、ビラ・ティッシュの配布とアピールボードを掲示して周知活動を行った。冒頭、連合徳島大谷会長より「過労死」の様々な原因を説明後、「日本では、毎年20

0人以上の方が過労死、過労自殺により亡くなっている。これは、あくまで労災認定された方々の数であって、氷山の一角でしかない。私たち連合は、過労死等防止啓発月間にあわせて、誰もが安心して健康に働き続けられるよう自分自身やご家族、職場の仲間のところからだをチェックしてみよう、そして残業を減らしていこう、と呼びかけている。自分は大丈夫と思っても、気付かないうちに不安やストレス、働き過ぎによる疲れが溜まっていることもある。連合の労働



アピールボードで県民に周知

12月街宣

「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える」
連合緊急アクション

2022年12月5日、JR徳島駅前において、構成組織より31人が参加のもと「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキヤンペーン」駅前街宣行動を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、緊急アクション

横断幕とアピールボードを掲示した。冒頭、連合徳島大谷会長からは、連合では、働く仲間の仕事の悩みを解決するため、常時、労働相談をフリーダイヤルやLINEで聞いている。働く仲間にも広く呼びかけるために全国統一のテーマを掲げて、年に3回、2月・6月・12月に全国一斉労働相談を行い、今回全国一斉集中労働相談ホットラインは、12月8日、9日の2日間10時から18時に行う。長時間労働をテーマに、「STOP！長時間労働！あなたの働き方は大丈夫？」をテーマに相談を受け付ける。テーマ以外にも労働に関する問題や職場の問題も気軽に相談頂きたいと訴えた。

その後、連合徳島・中小労働対策本部井内本部長、(公社)労働者福祉協議会川越会長、立憲民主党徳島県連・庄野代表、国民民主党徳島県連・黒崎代表より、それぞれのテーマで訴え集会を終了した。

1月街宣

連合緊急アクション
全国一斉集中労働相談
ホットライン周知駅前街宣行動

2023年1月13日、JR徳島駅前にて「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキヤンペーン」徳島駅前街宣行動を開催し、連合徳島構成組織等から25人が参加し、「地域別最低賃金」「連合緊急アクション」「全国一斉労働相談ホットライン」「春季生活闘争」等について、ビラ・ティッシュを配付するとともに、アピールボードを掲示して周知活動を行った。冒頭、連合徳島大谷会長より、「2月の全国一斉労働相



道行く人にアピールする弁士ら



県民に横断幕で周知



県民にビラ・ティッシュを配布

3.8国際女性デー
JR徳島駅前でアピール活動

2023年3月8日、JR徳島駅前にて「3・8国際女性デー第27回徳島県集会」を開催した。当日は、連合徳島3月街宣と連動し、各構成組合・関連団体から46名が参加した。

連合徳島女性委員会三木事務局長の司会により開会、実行委員長の東條恭子徳島県議会議員のあいさつに続いて、連合徳島大谷会長より「2023春季生活闘争は、『人への投資』にこだわった要求書を提出し交渉している。賃金・経済・物価が安定して上昇する『好循環』に変えていく必要がある」と訴えた。その後①副実行委員長の徳島



連合徳島藤田女性委員長が訴える

県議会議員吉田益子さん②徳島県女性協議会会長大寺禮子さん③連合徳島女性委員会委員長藤田晶子さん④徳島の女性議員を増やす会代表諏訪公子さん⑤NPO法人協働プランニングNIMS理事長瀬尾規子さん⑥部落解放同盟女性部長吉田初子さん⑦アイ女性会議徳島県本部事務局長高開千代



JR徳島駅前でアピール

青年委総会

有機的に連動で組織づくり、
運動強化へ意思統一

2022年12月12日、徳島県労働福祉会館502会議室において「連合徳島青年委員会2023総会」が開催され、新型コロナウイルス感染予防を考慮し参加者人数を抑え、各構成組織等から23人が参加した。

冒頭、開会の挨拶を圓山幹事(全水道)が述べた後、議長に山本代議員(労金労組)が選出され総会が進められた。連合徳島青年委員会を代表して小畑委員長(電力総連)は、「青年員会役員の交代が多く、今後の活動・発展に繋げる役員体制づくりが課題となっている。サッカーの様に、個々が自立し、主役として個性を発揮して輝きつつも規律を大事にし、相互にサポートし合い、有機的に連動しながら、チームとして成果を残していけるようにしていきたい」と述べた。続いて、連合徳島を代表し



小畑委員長団結ガンバロー

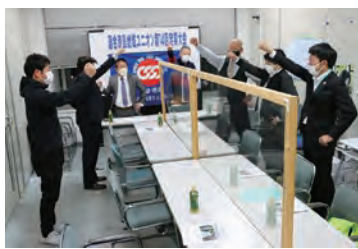
て大谷会長から「日頃の連合徳島青年委員会の取り組みと運営を評価するとともに活動に感謝する。」存知とは思いますが、来年4月以降に「デジタル賃金」が解禁される見込みとなる予定で、銀行口座を介さずに賃金をスマートフォン決済アプリ(正式名称の資金移動業者)から受け取れるようにする。この後、活動方針と活動計画(新役員体制が決議されるが、これからは「働くことを軸とする安心社会」に向けて、すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」として力を合わせて青年の立場からも連合運動を盛り上げてほしい」と挨拶。

青年委員会活動方針及び活動計画(案)では、連合運動の経緯と現状、働く青年層を取り巻く状況、青年活動の重要性の説明と①基本的な活動②積極的な活動報告・情報発信③研修会・交流行事等④連合本部連合四国ブロックでの活動を新居事務局長(自治労)が提案。第2号議案…2023年度連合徳島青年委員会役員体制(案)を尾崎幹事(JAM)が提案し、満場の拍手で承認された。

冒頭、連合徳島地域ユニオン島執行委員長から「今後コロナ感染症との闘いが続く中で、ロシアのウクライナへの侵攻が治まらず物価も高騰しているが、これらを追い風にして春闘へつなげていきたい。引き続き、総力を挙げて組織拡大に取り組み、すべての働く仲間をまもることで『働くことを軸とする安心社会』の実現をめざす」と挨拶した。続いて、メッセージ披露の

連合徳島地域ユニオン
第14回定期大会

2022年12月20日、連合徳島会議室において、連合徳島地域ユニオン第14回定期大会を開催し、地域ユニオン組合員等8名が参加した。



島執行委員長の発声で団結ガンバロー

あと、2022年度活動経過報告・会計報告を山本書記長から報告。2022年度会計監査報告を松本会計監査から報告した。第1号議案…2023年度活動方針(案)、第2号議案…2023年度会計予算(案)、第3号議案…2023年度役員体制(案)、第4号議案…徳島市議会議員選挙立候補予定者の推薦について山本書記長が提案し、参加者全員の拍手で承認され、島執行委員長の閉会挨拶と団結ガンバローで定期大会を閉会した。

徳島県中小労働対策本部

ワークルール学習会

徳島県中小労働対策本部は2022年11月5日、ふれあい健康館第1会議室にてワークルール検定制2022・秋(初級)の受験に向けて15人が参加した。



国重監督官がワークルールを解説

冒頭、徳島県中小労働対策本部山本書記長が挨拶した後、徳島労働基準監督署国重雅嗣監督官を講師に、過去に出された初級検定の受験問題を労基法と照らし合わせながら正解の導き方を解説するとともに、正解率の低い問題での誤解しやすい点等について

なお、本年度のワークルール検定には、徳島県や労働局、経営者協会など8団体から後援をいただき、徳島県労働福祉会館別館5階ホールにて2022年11月27日に「ワークルール検定2022・秋(初級)」検定が開催され、9人が受験し、7人が合格した。

2023年度活動方針満場一致で承認

女性委員会第34回中間期総会

2022年12月12日、連合徳島女性委員会第34回中間期総会を労働福祉会館502会議室において開催した。

横井委員の開会の後、議長に県教組・三好委員、総会役員に全国一般・中川委員を選出した。

開会にあたり連合徳島女性委員会藤田委員長は、「世界経済フォーラムの発表によると、日本のジェンダーギャップ指数は146ヶ国中116位と

なっており、男女平等には程遠い結果となった。教育は1位であるが、経済・121位、政治・139位と非常に低い。管理職の男女比、国会議員・閣僚の男女比などが要因となっており、自治体要請の際、女性管理職比率を聞いても30%を超えていない。社会全体で環境を整えていく必要がある」とあいさつした。

続いて連合徳島大谷会長は、「コロナ・物価・円安の三重苦ともいわれる状況乗り越え、GDPも、賃金も、物価も、安定的に上昇するよう、社会と経済を新しいステージに変えていかなければならない。そのためには、賃金の引き上げが不可欠。連合は2023春季生活闘争に向けて、5%程度の賃上げを求める方針を決定した。パート、有期契約、派遣契約で働く仲間をはじめ、すべての働く人の賃金引き上げ、男女間の賃金格差の是正などの取り組みを進めて行く」とあいさつした。

三木事務局長より2022年度経過報告および2023年度年間活動方針を提起し満場一致の拍手で承認された。その後、国公総連・戸出委員による総会宣言、スローガンについて採択、中央地協・山口委員の閉会あいさつに続き、藤田女性委員長「団結ガンバロー」で閉会した。

2023年度四国ブロック女性会談は、1月20日高知市において、28人が参加し開催された。

開会にあたり幹事県である、連合徳島藤田女性委員長より、「コロナ禍の影響もあり、久しぶりに四国四県から集まって開催できて嬉しい。これまで以上に四県が交流できればと思う」とあいさつした。続いて連合高知池澤会長より、「芳野会長が誕生し、ガラスの天井発言で、多くの共感をよび、勇気を与えた。女性の参画比率

春季生活闘争におけるジェンダー
平等・多様性推進課題を学習

四国ブロック女性会議

2023年度四国ブロック女性会談は、1月20日高知市において、28人が参加し開催された。

を上げる取り組みが行われているが、劇的に変わるわけではなく、息の長い取り組みとなる。ともに頑張りましょう」とあいさつした。

続いて、連合本部則松佳子副事務局長ならびに遠藤和佳子ジェンダー平等・多様性推進局長より、①2023年度活動計画②2023春季生活闘争(ジェンダー平等・多様性推進課題に関する取り組み)③連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズについて④個別課題について提起を受



各県から28人が参加

互いの意識醸成が必要など、空気感・雰囲気作りが必要との見解が示された。ハラスメントについて①ハラスメントをする人は自分は違うと思っている。②そもそも研修に参加しない意見に対し、何度も繰り返し研修を行うしかない。特効薬はないが地道な取り組みが必要だと認識を合わせ、2023年度四国ブロック女性会議を終了した。